

江戸周辺地域の広域支配

— 鷹場・留場・江戸十里四方を中心に —

報告者

根崎光男

(法政大学江戸東京研究センター 研究員・人間環境学部教授)

江戸のユニークさを考えるうえで、「江戸および江戸周辺の統治」のあり方について押さえておく必要があります。100万の人口を擁し、多様な身分・階層のふもとからなる巨大都市を、運営する仕組みとはどのようなものであったのでしょうか。江戸の支配というと、「大岡越前」や「遠山の金さん」といった、ときに名奉行と呼ばれる人物を輩出した町奉行に目を奪われがちですが町奉行は江戸の面積のおよそ15%を支配したに過ぎません。大都市江戸、およびそれと密接に結びつく周辺農村を統治したシステムについて考察します。

■司会■

横山泰子

法政大学江戸東京研究センター長・
理工学部教授

2018年9月29日(土)
15時から17時30分

[会場]

法政大学市ヶ谷キャンパス
ポアソナード・タワー

3階0300教室マルチメディアスタジオ

[参加申し込み]

PC/スマホ用専用フォーム
[https://www.event-u.jp/
fm/10895](https://www.event-u.jp/fm/10895)



携帯電話用専用フォーム
[https://www.event-u.jp/
fm/m10895](https://www.event-u.jp/fm/m10895)



[参加費]

参加費無料
(どなたでも参加可能です)

[問い合わせ先]

法政大学江戸東京研究センター事務室
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3
九段校舎別館1F 国際日本学研究所内
Tel:03-3264-9682
E-mail: edotokyo-jimu@ml.hosei.ac.jp

松本剣志郎

報告者

江戸の都市統治と身分制

(法政大学江戸東京研究センター 研究員・文学部専任講師)